

3 ; メダカの発生

メダカの卵は透明なため、発生の観察がしやすいのが特徴です。しかし、直径約 1.2mm の卵の中の発生を肉眼で見るのは困難です。通常、発生の観察は実顕微鏡を用いて行います。メダカの発生は温度依存的です (図 3-1)。

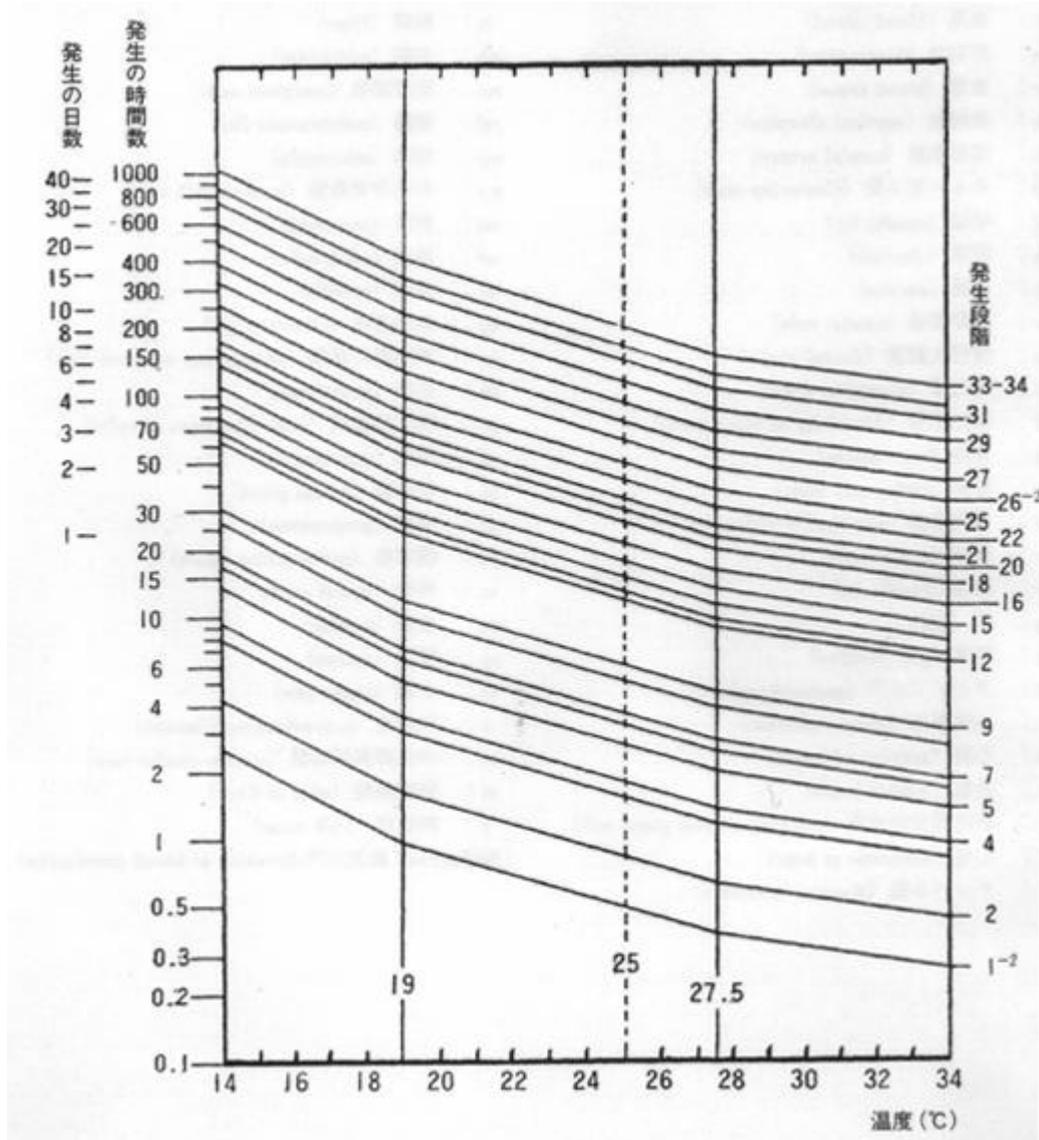


図 3-1 ; メダカ卵の発生速度と温度の関係

メダカの発生の段階はそれぞれの卵の形態的特徴から数字で表されます (図 3-2)。ここでは、未受精卵を段階 0 期、ふ化期を 39 期として、40 の段階に分けたもののそれぞれ特徴的な時期の胚の参考イラストを載せてあります。